

オレンジカフェ通信 2月・3月号



寒い日が続きますが、みなさんお元気ですか。外出時、蟠梅（ろうばい）やスイセン、菜の花が咲いていました。季節の移ろいを感じますね。
未だにインフルエンザやコロナ等の感染症が流行っていますので、免疫力を高めて、感染症に負けないようお過ごしください。
さて、オレンジカフェ通信ではたくさんの人に認知症や認知症に関する活動を知っていただけるよう紹介します。

オレンジカフェ

「オレンジカフェ」は、認知症や介護について学び、相談できる通いの場です。
また日頃思っていることを参加者との会話や交流で、心を軽くしてみませんか。

興味のある人、介護者、リフレッシュしたい人、ぜひお出掛けください。

- ・毎月第3火曜日13:30～16:00
- ・にこにこ甘楽 地域包括支援センター
- ・出入り自由で、予約は必要ありません。

2月20日（火）
ブックトーク
「万人にうける気ばらしの方法」
図書館ら・ら・かんら
司書 三木 さやか さん

3月19日（火）
ミニ講座
「認知症のおなはし」
認知症地域支援推進員
保健師 山田 幸代 さん

認知症の症状は、脳に生じた障害によって認知機能が低下することで起こる「中核症状」と、進行する中核症状への戸惑いや周囲との関係でも現れる「行動・心理症状」があります。

「行動・心理症状」は、本人とよい関係を築くことで現れなくなる言動もあります。

認知症クイズ



「同じ質問を何度も繰り返す」人がいます。あなたはどんな対応を選択しますか。

1. 「さっきも言ったでしょ」と叱る
2. メモを渡す
3. 何度でも優しく答える

答え 3

対応のポイント

質問したこと自体を忘れているかもしれません。また相手に伝わっていないという不安から繰り返しているかもしれません。

1. 本人にわかってもらおう、改善させようとするのは適切ではありません。厳しく言ったり、叱っても、状況は改善せず、本人には嫌な感情だけ残ってしまいます。
2. 忘れてしまうのだからメモを渡せばよいと考えたくなりますが、メモを受け取ったこと自体を覚えておくのが難しいこともあります。
3. 認知症のある人にとって、いつも「初めての質問」ということを理解し、その人の不安な気持ちに寄り添い、優しく答えて、安心してもらうことが大切です。意識を違うことに向ける働きかけもよいでしょう。

参考文献：別冊 NHK きょうの健康 家族のための認知症ケア とともに暮らすためにできること、知っておきたいこと NHK 出版 2021 年

認知症のある「人」の行動・発言には理由があります

～認知症の人の症状や対応について学びましょう～

認知症があることで、うまくいかないことや失敗することが増えて、本人は不安や戸惑いを覚えます。「以前の父（母）はこんなことをしなかった」「以前の夫（妻）はこんなことを言わなかった」などと、家族は悲しくなったり、思わず怒ってしまったたりすることもあります。

しかし、どの行動や発言にも本人なりの理由があります。行動や発言の理由を知ることで、本人とのコミュニケーションが取りやすくなります。

前号は、甘楽町ホームページまたは QR コードからご確認ください♪



高齢者のよろず相談
甘楽町地域包括支援センター
67-5182（直通）

〒370-2213

甘楽町大字白倉 1395 番地 1 にこにこ甘楽内
月～金（祝日・年末年始を除く）8:30～17:15